

〔ムラタの環境経営〕

技術や製品・サービスを通じて環境負荷の低減に貢献する。

株式会社村田製作所
取締役上席常務執行役員
牧野 孝次



〔地球温暖化防止〕

**徹底的な圧空使用のムダ削減。
圧空の使用効率を高め、
温暖化防止に貢献する。**

写真左より
株式会社村田製作所 八日市事業所 管理部
植村 隆史

株式会社村田製作所
八日市事業所 第4セラミック製造部
吉川 直人

株式会社村田製作所
八日市事業所 生産技術部
福島 正則

地域と共生し、地球と共生するために、自ら考え、行動する。

ムラタの環境経営とは、技術や製品・サービスを通じて環境負荷の低減に貢献すること、そしてこれらのアウトプットを生み出す際の環境負荷を可能な限り低減することです。企業活動とは、「何かをインプットしてそれを価値あるものに変換してアウトプットする」ということであり、この変換効率を上げることが大切だと考えています。まず、アウトプットでは、ムラタの製品を使っただけで環境負荷低減に貢献できているか、ということ意識しています。たとえば省エネルギーの分野では、エネルギー消費の少ない部品を提供することはもちろんのこと、HEMS※1やBEMS※2などのシステムに部品やサービスを提供することにも貢献しています。製品のご提供にあたっては、お客様がより良い商品を生みだせるよう積極的に提案する、というのがムラタの考え方です。積極的な提案は環境負荷低減の貢献になるうえに、ビジネスチャンスにもつながります。一方で、ムラタが製品を生み出す過程では、環境に対して負荷をかけていま

す。生産時の環境負荷低減にあたっては、「守るべきところはしっかりと守る」というのがムラタの考え方です。ムラタでは材料から製品まで一貫生産しているため、多くのエネルギーや資材を使用しています。投入資源を最小化するため、省エネや省資源などの効率化を積極的に進めています。環境負荷化学物質については、社内基準を設けて代替技術を開発するなど使用量の最小化に取り組んでいます。排気や排水・廃棄物については、単に法を守れば良いというのではなく、地域との共生も考え、自主的な基準を設けて管理しています。こうした考えを実現するため、長期的な視点で判断して、環境負荷低減と経済性を両立させる投資をしてきました。このような活動を継続していくためには、経営トップが考えを発信し続けるとともに、従業員も会社の考え方を理解したうえで、自ら考え行動する必要があります。これからも全社一丸となって、環境負荷を可能な限り低減することと魅力ある製品の提供の両立を継続していきます。

※1 HEMS:
Home Energy Management System
※2 BEMS:
Building Energy Management System
家庭内やビル内のエネルギーを管理し、快適性と省エネルギーの両立を実現するための仕組み

やるぞという意気込みで「チームエア」の取り組みをオールムラタへ。

八日市事業所は、原材料とセラミック電子部品を製造している主要事業所であり、CO₂排出量もムラタグループ内で上位に挙げられています。温暖化防止に向けた全社的な取り組みである製造工程での圧空※のモレ防止活動から視点を変え、八日市事業所では、徹底的な圧空使用のムダ削減活動にチャレンジしました。圧空をつくるユーティリティ設備の消費電力量は、八日市事業所におけるユーティリティ設備全体の消費電力量の約6割を占めており、圧空使用のムダ削減や使用効率を高めることは、ユーティリティ設備の省エネに大きな効果が期待できます。活動開始にあたり、製造、生産技術、環境部門が一体となり「チームエア」を結成し、製造工程でのモデルラインを決めて、モデルラインにおける圧空の使用用途、使用量を詳細に計測し、圧空の見える化を実施しました。その結果、生産設備の稼働、待機状況を問わ

ずに圧空を使用していることが課題として浮かび上がってきました。この活動は圧空を使用している生産設備での取り組みであり、生産設備の停止や品質面への影響などが懸念されましたが、圧空をつくる部門、つかう部門、そして技術支援する部門それぞれの立場から知恵と技術を出し合っ、圧空使用のムダ削減をやりきることができ、モデルラインでの取り組み効果は、CO₂排出量が年間100トン、コストにして数百万円の削減となりました。今後、モデルラインで得られた知見や成果を、「チームエア」が主体となって、事業所全体、そしてムラタグループ全体に展開できるよう推進していきます。

※圧空(圧縮空気):圧縮機などにより圧力を加えて体積を縮小させ高圧にした空気、圧空は電気と並び事業所において最も有用なエネルギーです。圧空はさまざまな工具や生産設備の動力源として使用され、事業所において重要な役割を果たしています。

CO₂総排出量と数量原単位改善率の推移

